

平成24年一番茶実収報告

京都府農林水産技術センター
農林センター茶業研究所

1. 摘採日

(摘採期)

仕立て法	本年	前年	前5か年	平年
自然仕立て	5月9日	5月11日	5月7日	5月7日
弧状仕立て	5月9日	5月13日	5月8日	5月7日

注) 平年は、平成6年～平成23年までの18年間の平均値

2. 生葉収量 (kg/10a)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	収量	指数	収量	指数	収量	指数
自然仕立て	892.4 ± 67.0	141	610.9 ± 48.5	97	632.4 ± 67.5	100
弧状仕立て	548.2 ± 96.6	152	396.2 ± 105.2	110	361.2 ± 70.4	100

指数は前5か年平均を100とした場合の比。

3. 百芽重 (g)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	重量	指数	重量	指数	重量	指数
自然仕立て	63.3 ± 1.2	126	38.5 ± 2.5	77	50.3 ± 5.0	100
弧状仕立て	45.2 ± 4.4	82	44.9 ± 7.1	81	55.2 ± 9.2	100

4. 新芽数 (本/m²)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	新芽数	指数	新芽数	指数	新芽数	指数
自然仕立て	585.4 ± 72.2	84	1107.0 ± 144.6	158	699.3 ± 112.5	100
弧状仕立て	2228.3 ± 393.3	149	1788.3 ± 528.5	119	1500.0 ± 354.6	100

注) 自然仕立ての数値は、20cm幅帯摘みの新芽数

5. 出開き度 (%)

仕立て法	本年	前年	前5か年平均
自然仕立て	64.7	43.9	45.3
弧状仕立て	96.7	76.8	64.7

6. 概要

(1) 摘採日

本年の一番茶摘採日は、自然仕立て園が5月9日で前年より2日早く、前5か年平均より2日遅かった。弧状仕立て園は5月9日で、前年より4日早く、前5か年平均より1日遅かった。

(2) 生葉収量

10a当たりの生葉収量は、自然仕立て園が892.4kg、弧状仕立て園が548.2kgとなり、いずれも前5か年平均より多かった。

(3) 病害虫の発生状況

チャノホソガのフェロモントラップ誘殺数は3月から4月第2半旬までは少なく経過したが、4月第3半旬から摘採期の5月第2半旬までは平年と比べて多かった。チャノコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺数は平年と比較して少なかった。

(4) 周辺茶園の状況

全農京都茶市場への出荷量は、前年比で煎茶111%、かぶせ茶103%、玉露106%といずれも多かった。てん茶は製茶期間中である。(6月5日現在)